

お得意様 各位

電気計器株式会社

絶縁ワニスの垂れについて

拝啓、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

お問い合わせいただきました絶縁ワニスの垂れにつきまして弊社見解を以下に申し上げます。

今後も、より一層お客様のご期待にそえる製品づくりを確立してゆく所存ですので、変わらぬご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 絶縁ワニスの垂れとは

写真のようにコイルから滲み出るワニス及びクランプの側面に付着したワニスを言います。



2. 絶縁ワニス含浸の目的

- ・トランス(またはコイル)は組み立てが終わると、絶縁材料であるワニスの入ったタンクに浸し、トランス(またはコイル)内部や絶縁紙内部にワニスを浸透させ、硬化させるワニス含浸工程があります。
- ・ワニス含浸を行う目的は、一般的に『絶縁強化』、『ワニスの硬化による機械的強度の向上』、『異物の侵入防止』、『巻線で発生した熱をコアへ伝達する放熱性の向上』等となります。

3. 絶縁ワニス垂れによる変圧器への影響

弊社では含浸の効果を高めるために真空状態でワニス含浸を行っております。真空にすることによりコイル内部に含まれる空気が脱気され、ワニスにより浸透しやすいようにしております。

一方、ワニスが多く浸入した場合、硬化途中で余分なワニス外部に漏れる場合があり、そのワニスがコイル表面及びクランプ側面に付着した状態で硬化するため美観性が損なわれる場合もありますが、上記ワニス含浸の目的から外れることはなく、また電気的特性にも問題はございません。

したがって、絶縁ワニスの垂れが生じている場合でもご安心してお使いいただけます。

以上